

SCHOOL スクール REPORT レポート

2019 年、新しい学びの カタチがスタート!!

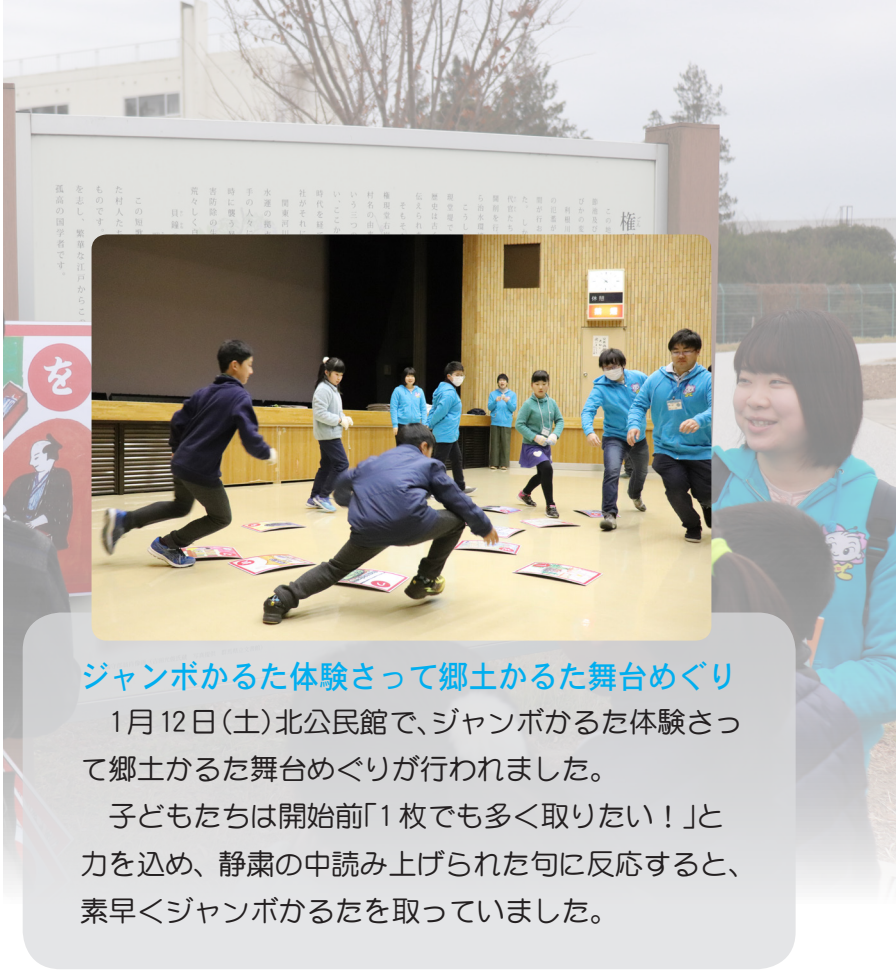
県立幸手桜高等学校

埼玉県教育委員会から「ICT環境整備対象校」に選定され、タブレット端末を44台導入しました。また、全てのホームルーム教室にプロジェクターとWi-Fi環境が整備されたことで、今後ICT（情報通信技術）を活用した授業を積極的に展開していきます。



また、共栄大学と「高大連携協定」を締結し、生徒が大学に出向いて講義を受講したり、大学の教員が高校で出張授業を行ったり、学生が学習サポーターとして基礎学力補講なども行っています。

さらに、地域との連携を推進して、社会性の育成や地域貢献活動に取り組んでおり、「幸手市民まつり」にボランティアとして参加したり、文化部が「幸手市文化祭」に作品を出展しました。また、さかえ小学校でサマー・スクール・ボランティアとして小学生と交流したり、女子バレーボール部と陸上部が幸手小学校で体育活動の補助をするなどの取組みも行っています。



ジャンボかるた体験さって郷土かるた舞台めぐり

1月12日(土)北公民館で、ジャンボかるた体験さって郷土かるた舞台めぐりが行われました。

子どもたちは開始前「1枚でも多く取りたい!」と力を込め、静粛の中読み上げられた句に反応すると、素早くジャンボかるたを取っていました。



野菜作り講座「春夏編」

1月16日(水)市役所会議室で、野菜作り講座「春夏編」が行われました。

農業に対する興味や理解を深めるため、野菜の育て方や土作りを学ぶこの講座、参加者は「家庭菜園に活用したい!」と話していました。



郷土資料館 ものづくり体験学習講座「藁で作るお正月飾り」

12月15日(土)郷土資料館で、藁細工職人である坂齊武男さんを講師に迎え、ものづくり体験学習講座「藁で作るお正月飾り」が行われました。

藁を絞めていくのに結構な力があるので、みなさんと協力しながら作る場面も。

米どころ幸手に受け継がれる藁の文化体験に、参加者は「全身使って、汗びっしょりになっちゃった!」と笑顔で話していました。



七草がゆを食べる会

1月7日(月)中央公民館で、七草がゆを食べる会が行われました。

平安時代からつづく無病息災を祈るこの習慣、前日に採取した食材を使い、手際よく七草がゆを作りました。できたての七草がゆを頬張ると、心も身体もポカポカしてきて、参加者は「今年も元気に過ごせそうだ!」と笑顔で話し、おかわりをしていました。



燎原短歌会

平成の
残りもわずかな新らしき
御代のいやさか
共に祈らん
桑島正江・東四

冬枯れの
小庭のすみの紅梅は
蕾ふふみて
春を告げおり
大熊昭子・東五

天空の里とふ
秩父分教場
ビザ焼く窯の
けむり棚引く
尾上喜子・栄六

陽だまりに咲く
シクラメンの紅淡く
そっと寄りくる
冬のみつ峰
堀山徳子・中四

シクラメン咲きて
賜いし友を思う
窓辺も庭も
いっぱいの花
中村孝子・南三

北風にこころ
ころころ着ぶくれて
雀もまとう
ダウンジャケット
野口と志子・東五

若草俳句会

「冬霞・帰り花」
鉄線の
返り咲く様夫思う
高橋照子・中野

貨物車の
ライト和らぐ冬がすみ
中田志づ・権現堂

デイケアの
車遠退く冬霞
永田民子・南

賑わいを
大窓越しに帰り花
林綾・千塚

帰り花
この世に未練あればこそ
大熊三郎・北

誰が歌う
古賀メロデーや帰り花
太田葱青・南

冬霞
湯屋は煙突のみ残し
鴨田とし子・中

